

中央教育審議会答申「新時代の大学院教育」（一部抜粋）

P. 20～P. 21

第2章 新時代の大学院教育の展開方策

1 大学院教育の実質化（教育の課程の組織的展開の強化）のための方策

(1) 課程制大学院制度の趣旨に沿った教育の課程と研究指導の確立

① コースワークの充実・強化

社会のニーズに対応した人材の養成を行うためには、学修課題を複数の科目等を通して体系的に履修するコースワークを充実し、関連する分野の基礎的素養の涵養等を図っていくことが重要である。

特に、博士課程は、5年間を通じた体系的な教育の課程を編成し、コースワーク、論文作成指導、学位論文審査等の各段階が有機的なつながりを持って博士の学位授与へと導いていくといった教育のプロセス管理が重要となる。

これと関連して、各大学院においては、その人材養成目的や特色に応じてアドミッション・ポリシーを明確にし、それを適切に反映した入学者の選考上の工夫を行うことが重要である。

【具体的取組】

- 大学院の課程の単位の考え方の明確化（大学院設置基準の改正）
- 修士課程及び博士課程（前期）の修了要件の見直し（大学院設置基準の改正）
- 豊かな学識を養うための複合的な履修取組（主専攻・副専攻制、ジョイントディグリー）の導入
- 博士課程の短期在学コースの創設の検討
- 国によるコースワーク充実のための情報提供等

グローバル化や科学技術の進展など社会の激しい変化に対応し得る人材の養成を行うためには、課程制大学院制度の趣旨に沿って大学院教育の組織的展開の強化を図ることが大切である。

このため、各大学院においては、専攻分野に関する高度の専門的知識・能力の修得に加え、学修課題を複数の科目等を通して体系的に履修するコースワークを充実し、関連する分野の基礎的素養の涵養等を図っていくことが必要である。特に、博士課程においては、5年間を通じた体系的な教育課程を編成し、コースワーク、論文作成指導、学位論文審査等の各段階が有機的なつながりを持って博士の学位授与へと導いていくといった教育のプロセス管理が重要である。その際、将来の研究リーダーや国際社会など多様な場で活躍できる研究者の育成の観点からは、コースワークを通じて、例えば、研究企画書の作成等を含めた研究プロジェクトの企画・マネジメント能力や英語のプレゼンテーション能力の涵養などに努めていくことが重要である。

コースワークを充実するためには、大学院教育の特質に応じた単位制度の見直し

や、博士課程について5年間を通じた体系的な教育課程という観点からの修士論文の在り方、豊かな学識を養うための履修上の工夫などについて検討する必要がある。各大学院においては、例えば、前期はコースワークに重点を置いて後期は研究活動を中心とする、前期・後期を通じたコースワークを設定するなど、その人材養成目的や専攻分野の特性に応じた最も効果的なコースワークを行っていくことが重要である。また、分野によっては、大学間の連携・協力体制を強化するなどして、組織的にコースワークの充実を図っていく取組も有効である。

大学院教育の組織的展開の一環として、大学院への入学者の受入れと入学後の教育に有機的なつながりを持たせるよう努めることが求められる。このため、各大学院においては、それぞれの人材養成目的や特色に応じてアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）を明確にし、公表するとともに、それを適切に反映した入学者受入れを行えるよう、選考の方法や時期等について工夫を行うことが必要である。

(中略)

P. 23

○ 医療系大学院

＜各分野共通の教育・研究指導の在り方＞

医療系大学院における教育・研究指導には、これまで、ややもすると大学院学生が所属する各研究室の指導教員に教育を任せ切りにするという傾向も見られた。しかしながら、先に示したように大学院の目的と教育内容を明確にし、教育・研究指導を実効性あるものにするためには、専攻単位で組織的に教育活動を計画することが重要である。

また、専攻を単位とする組織的な教育活動が、動物実験や遺伝子実験、放射線の取扱いなど単に様々な診療上や研究上の規制に対応した知識・技術のみを修得させるのではなく、体系的な教育を提供するという課程制大学院の趣旨に沿ったふさわしいものとなるよう、関係者が努力していくことが強く求められる。

具体的には、幅広い視野と当該専門分野での専門的知識を修得させるため、例えば次のような、専攻を単位とする組織的な教育活動が効果的と考えられる。

- ・幅広い視野を身に付けるための関連領域に関する組織的な教育活動
- ・各専門分野に関する専門知識を身に付けるための体系的かつ組織的な教育活動
- ・自立的な研究者として必要な能力や技法を身に付けるための組織的な教育活動

このほか、単位の認定や最終試験による課程修了資格の認定において客観性を確保することや、学外や関連分野の教員等も交えた学位論文審査を実施することが適当である。

さらに、研究遂行上又は職業上必要な資格の取得や、関連学会における認定資格（専門医など）の取得のための講習や研修と、医学・歯学系大学院博士課程における教育とは、本来、趣旨・目的を異にするものであるが、専門分野の資格取得のための本人の負担等を考慮すると、大学院の教育課程の中に当該資格取得に必要な教育内容を取り込む工夫も適当と考えられる。

(中略)

P. 24～P. 25

④看護学系・医療技術系大学院について

看護学系・医療技術系分野の区分制博士課程（前期）にあつては、一専攻当たりの学生数が少ない場合などは、同一専攻の中で、博士課程（後期）修了後に教育研究職に就く者のための研究者養成プログラムと、前期課程修了後に専門職に就く者のための高度専門職業人養成プログラムを併せ持つなどの工夫が必要である。

この場合、看護学系・医療技術系分野は特に実践性が求められることから、いずれのプログラムにおいても、専門職業人としての一定の実務経験を経てから入学させることが望ましい。

研究者養成プログラムにおいては、研究者としての基本的研究手法を身に付けるために必要

(中略)

P. 25

<単位の考え方の明確化>

大学院の教育機能の実質化を図り多様な展開を促すために、学問分野の特性に応じ、例えば、研究者として必要な研究技法や研究能力を身に付けるためのフィールドワークや文献調査を定期的に行わせるような場合、講義と実習といった複数の授業の方法を組み合わせた授業科目を導入することも重要である。そのような取扱いが容易にできるよう、設置基準における単位の計算方法について明確化することが適当である。また、我が国の単位制度（45時間の学修をもって1単位とすることを基本とする制度）の趣旨に沿って十分な学習量が確保されるよう、その実質化に向けた各大学院の努力が求められる。

公益社団法人日本理学療法士協会及び
一般社団法人日本作業療法士協会の教育研修制度

理学療法士 生涯教育 制度

(公益社団法人日本理学療法士協会ホームページより)

新人教育プログラム

協会入会后、最短1年間のうちに指定された15単位(平成24年度以降入会で、大学・高度専門士養成校出身者は13単位)を取得します。

研修会の実施は各都道府県理学療法士会が行います。

新人教育プログラムの単位を全て履修し、マイページより修了申請をすると、「新人教育プログラム修了証」が発行されます。修了日以降、認定・専門理学療法士申請に必要な生涯学習ポイントを取得できるようになります。新人教育プログラムが修了すると、専門分野の登録を行うことで、認定・専門理学療法士制度へ移行します。

認定・専門理学療法士制度

新人教育プログラム修了者を対象に、自らの専門性を高め、良質なサービスを提供する臨床能力を備え、理学療法の学問的発展に寄与する研究能力を高めていくことを目的としています。

新人教育プログラム修了者は7分野(基礎理学療法、神経理学療法、運動器理学療法、内部障害理学療法、生活環境支援理学療法、物理療法、教育・管理理学療法)のいずれかひとつ以上の分野に登録し、認定理学療法士、専門理学療法士を目指します。

新人教育プログラム修了者を対象に、自らの専門性を高め、良質なサービスを提供する臨床能力を備え、理学療法の学問的発展に寄与する研究能力を高めていくことを目的としています。新人教育プログラム修了者は7専門分野(基礎理学療法、神経理学療法、運動器理学療法、内部障害理学療法、生活環境支援理学療法、物理療法、教育・管理理学療法)のいずれかひとつ以上の専門分野に登録し、認定理学療法士・専門理学療法士を目指します。

大学院における専門作業療法士制度研修実践の履修の方法について

(一般社団法人日本作業療法士協会ホームページより)

大学院で専門分野の研修実践の研修項目の履修を考える場合は次の手順で行います。

1. 履修方法の種類

履修方法としては、以下の2つの方法があります。目指す専門分野や地域などを会員個人が判断し、履修方法を選択します。

1) 大学院への入学

- 大学院に入学し、大学院修了に必要な単位あるいは選択科目として専門分野の研修項目に該当する授業科目を履修し、単位を修得する方法です。
- 各々の大学院で連携している科目によっては、専門分野の研修カリキュラムの全てを修了することが可能(一部の場合もあります)です。
- 専門分野に関わる学位論文の提出により大学院を修了することで、専門分野の研修カリキュラムの「専門研究・開発」を修了することができます。
- 専門分野の研修カリキュラムに該当する科目の履修を証明するために、以下の書類等が必要になります。

→成績証明書(単位修得証明書)、学位記(修士・博士)

2) 科目履修

- 大学院に科目等履修生として入学し、専門分野の研修項目に該当する授業科目を履修し、単位を修得する方法です。
- 専門分野の研修カリキュラムを部分的に修了することが可能です。
- 専門分野の研修カリキュラムに該当する科目の履修を証明するために、以下の書類が必要になります。

→成績証明書(単位修得証明書)

2. 大学院での研修実践の研修項目履修の手順

- 協会ホームページ等の専門作業療法士制度連携大学院一覧を確認し、修得しようとする専門分野の科目をどの大学院で取得するかを決めます。
- 入学あるいは科目履修の手続きについて、各大学院へ詳細を問い合わせ、必要な手続きを行います。
- 単位を修得あるいは学位(修士・博士)を取得し、これらを証明するための必要書類等を保管すると同時に、手帳および申請書類等への備忘を行います。
- 専門作業療法士申請の際に、必要書類を提出します。

北陸地域における理学療法士・作業療法士養成状況

【理学療法士養成校】

種 別	名 称	所 在 地	入学定員
大 学	金城大学 医療健康学部理学療法学科	石川県白山市	65 人
大 学	金沢大学 医薬保健学域保健学類理学療法専攻	石川県金沢市	20 人
短期大学	福井医療短期大学 リハビリテーション学科理学療法専攻	福井県福井市	50 人
専門学校	専門学校金沢リハビリテーションアカデミー 理学療法学科	石川県金沢市	35 人
専門学校	国際医療福祉専門学校七尾校 理学療法学科	石川県七尾市	35 人
専門学校	富山医療福祉専門学校 理学療法学科	富山県滑川市	30 人
専門学校	若狭医療福祉専門学校 理学療法科	福井県三方郡 美浜町	40 人
入学定員計			275 人

【作業療法士養成校】

種 別	名 称	所 在 地	入学定員
大 学	金城大学 医療健康学部作業療法学科	石川県白山市	35 人
大 学	金沢大学 医薬保健学域保健学類作業療法専攻	石川県金沢市	20 人
短期大学	福井医療短期大学リハビリテーション学科 作業療法専攻	福井県福井市	40 人
専門学校	専門学校金沢リハビリテーションアカデミー 作業療法学科	石川県金沢市	35 人
専門学校	国際医療福祉専門学校七尾校 作業療法学科	石川県七尾市	35 人
専門学校	富山医療福祉専門学校 作業療法学科	富山県滑川市	30 人
入学定員計			195 人

金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻
(仮称、修士課程)に関する意向調査
<大学院進学アンケート(社会人)>

集 計 結 果

平成 26 年 2 月

目 次

＜アンケート調査概要＞	1
＜大学院進学意向＞	2
＜アンケート調査票＞	3
＜アンケート集計結果＞	8

<アンケート調査概要>

1. 実施アンケート

「金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称、修士課程）に関する意向調査」

2. 調査対象

金城大学医療健康学部理学療法学科卒業生

石川県理学療法士会会員、石川県作業療法士会会員、富山県理学療法士会会員

（注）各療法士会員については金城大学医療健康学部理学療法学科卒業生を除く

3. 調査実施

平成 25 年 12 月～平成 26 年 1 月

4. 調査方法

調査対象者に郵送による配布・回収

5. 回収状況

有効回答票 814 票

回収率 35.4%（回答数 814 人÷依頼数 2,300 人）

<大学院進学意向>

大学院進学（社会人）アンケートによる「金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）」への進学意向について、実数での回答は以下の通りである。

⑦ 金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）への進学意向	実 数
1 ぜひ入学したい	4 人
2 できれば入学したい	6 人
3 経済的・時間的な余裕、職場の理解等の条件が整えば入学したい	69 人
4 将来の選択肢の一つとして考えたい	125 人
5 大学院の特定科目のみ受講したい	17 人
計	221 人

<アンケート調査票>

金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻

(仮称、修士課程)に関する意向調査

金城大学では、理学療法士・作業療法士資格をお持ちの方が、入学可能な大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻(仮称、修士課程)を、平成27年度を目標として開設することを検討しております。つきましては、大学院設置構想検討の参考とさせていただくために、大学・大学院に関する調査に関して多くの実績を持つ一般財団法人日本開発構想研究所に委託して、理学療法士・作業療法士資格をお持ちの方を対象として、本学大学院に関する意向等を調査させていただくこととなりました。

なお、本調査は無記名で行われ、結果は統計的に処理され調査目的以外に使用することはありません。ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。結果集計の都合上、必要事項をご記入の上、12月27日(金)までに返送用封筒にてご返送くださいますようお願い申し上げます。

金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻(仮称)

設置計画概要(検討中のものを含む)

1. 設置場所および入学定員：金城大学の現在のキャンパス内(石川県白山市笠間町1200)入学定員は5名程度を予定しています。
2. 受験資格：理学療法士、作業療法士の資格を有する方(大学を卒業していなくても、実務経験、研究業績等から大学卒業と同等以上の学力を有すると認められた方は、受験を可能にする予定です)。
3. 開講時間等：就職しながら学ぶことを支援するために、昼夜開講、週末開講等を検討しています。
4. カリキュラム：理学療法、作業療法に関する専門科目に加え、生理学・解剖学等の基礎医学、精神科学、発達・心理学関連等の科目についても開講を予定しています。また、勤務先における職務経験が、大学院における学修・研究に生かせるようなカリキュラム(いくつかの症例を基礎として論文にまとめることを認める等)も計画しています。
5. 学費および学費等の減免制度：

	入学金	授業料	教育充実費	合計
1年次	200,000	600,000	145,000	945,000
2年次	-	600,000	145,000	745,000

また、就職しながら学ぶことを支援するために、長期履修制度(職場の都合等やむを得ない理由により最短の2年で修了できない場合、3年目以降の学費を減免する制度)、成績優秀者への奨学金制度、金城大学卒業者に対する入学金減免制度等について検討しています。

金城大学へのアクセス

JR北陸本線利用：JR北陸本線で金沢駅・小松駅から最寄駅(加賀笠間駅)まで15分+徒歩10分(朝・夕はシャトルバス有)

北陸自動車道：美川I.C.と徳光スマートI.C.より車で約5分(キャンパス内無料駐車場完備)

金城大学大学院リハビリテーション学専攻（仮称）に関する意向調査

あてはまる番号を□内に記入し、必要事項を()内にご記入ください。

- ① 性別
1. 男性
 2. 女性
- 1
-

- ② 年齢。
1. 20 歳代
 2. 30 歳代
 3. 40 歳代
 4. 50 歳代
 5. その他 (歳代)
- 2
-

- ③ 現在お持ちの医療関係資格（お持ちの資格の番号を全てご記入ください）
1. 理学療法士
 2. 作業療法士
 3. 看護師
 4. 言語聴覚士
 5. その他（具体的にご記入ください）
- 3
-

- ④ 現在のご職業
1. 医療機関の常勤職員
 2. 社会福祉施設の常勤職員
 3. 医療機関の非常勤職員
 4. 社会福祉施設の非常勤職員
 5. 自営業
 6. その他（具体的にご記入ください）
- 4
-

- ⑤ 現在のお住まい
() 県 () 市・町・村

- ⑥ 最終学歴および取得学位
1. 3 年制専門学校卒業
 2. 4 年制専門学校卒業
 3. 短期大学卒業
 4. 大学卒業（金城大学医療健康学部以外）
 5. 金城大学医療健康学部卒業（平成 年卒）
 6. 大学院前期課程（修士課程）修了 修士号取得
 7. 大学院後期課程（博士課程）修了 博士号取得
 8. その他（具体的にご記入ください）
- 6
-

⑦ 金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）への進学意向（最も当てはまる番号を1つだけご記入ください）

1. ぜひ入学したい
2. できれば入学したい
3. 経済的・時間的な余裕、職場の理解等の条件が整えば入学したい
4. 将来の選択肢の一つとして考えたい
5. 大学院の特定科目のみ受講したい
6. 他の大学院に入学したい（具体的にご記入ください）
7. 今はわからない
8. 入学は希望しない

7

以下については、⑦で1～5を選択した方のみご記入ください。

⑦で6～8を選択された方は、以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

⑧大学院に入学を希望する場合大学院で学びたい理由（あてはまる番号を全てご記入ください）

1. 現在持っている資格・就いている職業の専門性を高めたい
2. 最先端の知識・技術を身につけたい
3. 大学院で専門的に研究したいこと（テーマ）がある
4. 今後は、社会的に大学院修了が求められるようになると思うから
5. 今後は、上位資格（専門〇〇療法士、認定〇〇療法士等の資格）を取得するために大学院修了が必要になると思うから
6. 今後、職場において中核的・指導的な役割を果たすためには、大学院で学ぶことが必要だと思うから
7. 将来、研究職を目指したいから
8. 将来、理学療法士、作業療法士養成校の教員を目指したいから
9. その他（具体的にご記入ください）

8

⑨ あなたが金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）に期待すること（あてはまる番号を全てご記入ください）

1. 高度な知識、技術を備えた人材の育成
2. 職場において指導的役割をはたせる人材の育成
3. 理学療法士・作業療法士養成校教員の養成
4. 共同研究による高度医療等への対応
5. 先進的な治療方法等の開発・導入
6. 研修会等の開催により、最先端の知識・技術を修得する機会を設ける
7. 自分自身が履修を希望する科目について、科目等履修生（聴講生）等として受け入れる
8. その他（具体的にご記入ください）

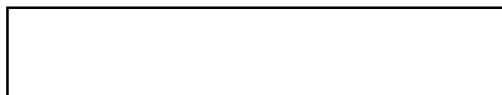
9

⑩ あなたが金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）に入学する場合に希望すること（あてはまる番号を全てご記入ください）

1. 職務に支障がないよう授業開講時間帯等に配慮する
2. 経済的負担を軽減するために、授業料等について配慮する
3. 成績優秀者に対する奨学金（授業料減免）制度を設ける
4. 職務の都合等やむを得ない理由により最短の在学期間（2年間）で修了できない場合、3年目、4年目の授業料を減免する（長期履修制度の導入）
5. 金城大学医療健康学部卒生が入学する場合は入学金を減免する
6. 大学を卒業していなくても、実務経験・研究発表等から大学卒業と同等以上の学力を有すると判断されれば大学院受験資格を認める
7. 金城大学医療健康学部へ編入し大学を卒業した後、大学院を受験可能なようにする
8. 通学の利便性を考慮し、一部の科目を金沢市内（サテライトキャンパス）で開講する
9. 職場における臨床経験が研究につながるよう配慮する
10. 大学院で学んだ経験が、職務に生かせるよう配慮する
11. その他、具体的にご記入ください



10



以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

<アンケート集計結果>

「金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻
(仮称、修士課程)に関する意向調査」回収表

〔回収状況〕回収数：814票

回収日	回収数
12.13	1票
12.16	88票
12.17	117票
12.18	42票
12.19	109票
12.20	86票
12.24	101票
12.25	54票
12.26	23票
12.27	45票
01.06	113票
01.07	18票
01.08	3票
01.09	2票
01.14	1票
01.15	9票
01.17	2票
計	814票

「金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻
（仮称、修士課程）に関する意向調査」集計表

[有効回答票：814票]

種別

No.	カテゴリ	件数	%
1	卒業生	32	3.9
2	卒業生以外	782	96.1
	N（%へ-ス）	814	100.0

① 性別

No.	カテゴリ	件数	%
1	男性	411	50.5
2	女性	402	49.4
	不明	1	0.1
	N（%へ-ス）	814	100.0

② 年齢

No.	カテゴリ	件数	%
1	20歳代	315	38.7
2	30歳代	283	34.8
3	40歳代	158	19.4
4	50歳代	49	6.0
5	その他	8	1.0
	不明	1	0.1
	N（%へ-ス）	814	100.0

「5 その他」の回答：60歳代

③ 現在お持ちの医療関係資格（複数回答）

No.	カテゴリ	件数	%
1	理学療法士	680	83.5
2	作業療法士	134	16.5
3	看護師	2	0.2
4	言語聴覚士	3	0.4
5	その他	34	4.2
	不明	1	0.1
	N（%ベース）	814	100.0

（複数回答のため合計は100%にならない）

「5 その他」の回答（ダブっている回答は除く）

ケアマネージャー
健康運動指導士
福祉住環境コーディネーター2級
看護支援専門員
介護福祉士、社会福祉士
介護支援専門員
保健衛生学位
あん摩・マッサージ・指圧師・鍼師・灸師
鍼灸・指圧・マッサージ師
心リハ指導士、呼吸両方認定士
心リハ指導士、福祉住環コーディネーター2級
柔道整復師
DM療養指導士、呼吸療法認定士
ケアマネ、社会福祉主事
福祉住環境コーディネーター
健康運動指導士
呼吸療法認定士
社会福祉士
住環境福祉コーディネーター
呼吸療法士、ケアマネ

④ 現在のご職業

No.	カテゴリ	件数	%
1	医療機関の常勤職員	614	75.4
2	社会福祉施設の常勤職員	123	15.1
3	医療機関の非常勤職員	14	1.7
4	社会福祉施設の非常勤職員	10	1.2
5	自営業	5	0.6
6	その他	41	5.0
	不明	7	0.9
	N (％ベース)	814	100.0

「6 その他」の回答（ダブっている回答は除く）

自宅にて自己研鑽中	ラジオ放送局勤務
行政	市職員
介護保健施設	石川県職員行政
市役所の常勤職員	介護老人保健施設の常勤職員
訪問看護ステーション常勤職員	主婦
介護保険施設常勤職員	民間会社職員
介護保健施設	地方公務員
介護老人保健施設	株式会社
介護保険施設常勤職員	無職
社協職員	ケアマネ、訪問リハ
老人保健施設常勤職員	育児休業中
介護療養型老人保健施設の常勤	公務員
教員	訪問看護ステーション
行政機関	株式会社の常勤職員
大学教員	行政機関の常勤職員

⑤ 現在のお住まい

石川県	525	富山県	273	三重県	2
かほく市	6	滑川市	20	亀山市	1
羽咋市	6	魚津市	10	松阪市	1
加賀市	31	高岡市	33	滋賀県	1
河北郡	5	黒部市	6	大津市	1
金沢市	219	射水市	22	新潟県	1
穴水町	4	小矢部市	6	新発田市	1
志賀町	10	上市町	5	千葉県	1
鹿島郡	1	朝日町	1	習志野市	1
七尾市	32	砺波市	13	大阪府	1
珠洲市	6	南砺市	13	枚方市	1
小松市	63	入善町	5	京都府	1
中能登町	9	氷見市	11	八幡市	1
津幡町	9	富山市	120	愛知県	1
内灘町	15	立山町	6	刈谷市	1
能登町	6	(回答無)	2	(回答無)	6
能美市	20	福井県	2		
白山市	34	坂井市	1		
百坂町	1	福井市	1		
宝達志水町	3				
野々市市	24				
輪島市	15				
(回答無)	6				
				総計	814

⑥ 最終学歴および取得学位

No.	カテゴリ	件数	%
1	3年制専門学校卒業	201	24.7
2	4年制専門学校卒業	233	28.6
3	短期大学卒業	122	15.0
4	大学卒業（金城大学医療健康学部以外）	152	18.7
5	金城大学医療健康学部卒業	56	6.9
6	大学院前期課程（修士課程）修了 修士号取得	30	3.7
7	大学院後期課程（博士課程）修了 博士号取得	9	1.1
8	その他	9	1.1
	不明	2	0.2
	N（% [^] - λ ）	814	100.0

「5 金城大学医療健康学部卒業」

卒業年：平成 22 年 平成 23 年 平成 24 年 平成 25 年 一期生

「8 その他」

大学附属学校専攻科リハビリテーション科
3年制短期大学卒業、教養学士取得
文系4大卒業後、3年制専門学校卒業
短大卒業後、学位授与機構にて学士取得
労働福祉事業団管轄の大学校
短期大学卒業後学位授与機構にて保健学士取得
大学校卒
学位授与機構保健衛生学士
放送大学にて学士取得

⑦ 金城大学大学院リハビリテーション学専攻（仮称）への
進学意向（単純集計）

No.	カテゴリ	件数	%
1	ぜひ入学したい	4	0.5
2	できれば入学したい	6	0.7
3	経済的・時間的な余裕、職場の理解等の条件が整えば入学したい	69	8.5
4	将来の選択肢の一つとして考えたい	125	15.4
5	大学院の特定科目のみ受講したい	17	2.1
6	他の大学院に入学したい	19	2.3
7	今は分からない	193	23.7
8	入学は希望しない	377	46.3
	不明	4	0.5
	N (% [^] -s)	814	100.0

進学意向（クロス集計：石川県居住の理学療法士及び作業療法士、富山県居住の理学療法士の進学意向）

No.	カテゴリ	石川県居住の理学療法士（注1）		石川県居住の作業療法士（注2）		富山県居住の理学療法士（注3）	
		件数	%	件数	%	件数	%
1	ぜひ入学したい	2	0.5	0	0.0	2	0.7
2	できれば入学したい	3	0.8	1	0.8	1	0.4
3	経済的・時間的な余裕、職場の理解等の条件が整えば入学したい	33	8.4	10	7.8	23	8.5
4	将来の選択肢の一つとして考えたい	66	16.7	20	15.5	35	13.0
5	大学院の特定科目のみ受講したい	7	1.8	4	3.1	6	2.2
6	他の大学院に入学したい	9	2.3	5	3.9	4	1.5
7	今は分からない	98	24.8	24	18.6	66	24.4
8	入学は希望しない	174	44.1	65	50.4	132	48.9
	不明	3	0.8	0	0.0	1	0.4
	N (% [^] -s)	395	100.0	129	100.0	270	100.0

（注1）石川県居住者（問⑤）525人のうち理学療法士資格保有者（問③ 1）395人の回答

（注2）石川県居住者（問⑤）525人のうち作業療法士資格保有者（問③ 2）129人の回答

（注3）富山県居住者（問⑤）273人のうち理学療法士資格保有者（問③ 1）270人の回答

(⑧以降は、⑦で1~5を回答した221名への質問)

⑧ 大学院に入学を希望する場合大学院で学びたい理由 (複数回答)

No.	カテゴリ	件数	%
1	現在持っている資格・就いている職業の専門性を高めたい	179	81.0
2	最先端の知識・技術を身につけたい	110	49.8
3	大学院で専門的に研究したいこと(テーマ)がある	31	14.0
4	今後は、社会的に大学院修了が求められるようになると思うから	57	25.8
5	今後は、上位資格(専門〇〇療法士、認定〇〇療法士等の資格)を取得するために大学院修了が必要になると思うから	51	23.1
6	今後、職場において中核的・指導的な役割を果たすためには、大学院で学ぶことが必要だと思うから	58	26.2
7	将来、研究職を目指したいから	11	5.0
8	将来、理学療法士、作業療法士養成校の教員を目指したいから	26	11.8
9	その他	5	2.3
	不明	6	2.7
	N (% [^] -入)	221	100.0

(複数回答のため、合計は100%にならない)

⑨ あなたが金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻(仮称)に期待すること(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	%
1	高度な知識、技術を備えた人材の育成	160	72.4
2	職場において指導的役割をはたせる人材の育成	100	45.2
3	理学療法士・作業療法士養成校教員の養成	46	20.8
4	共同研究による高度医療等への対応	84	38.0
5	先進的な治療方法等の開発・導入	92	41.6
6	研究会等の開催により、最先端の知識・技術を修得する機会を設ける	135	61.1
7	自分自身が履修を希望する科目について、科目等履修生(聴講生)等として受け入れる	50	22.6
8	その他	9	4.1
	不明	5	2.3
	N (% [^] -入)	221	100.0

(複数回答のため、合計は100%にならない)

⑩あなたが金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）

に入学する場合に希望すること（複数回答）

No.	カテゴリ	件数	%
1	職務に支障がないよう授業開講時間帯等に配慮する	195	88.2
2	経済的負担を軽減するために、授業料等について配慮する	191	86.4
3	成績優秀者に対する奨学金（授業料減免）制度を設ける	77	34.8
4	職務の都合等やむを得ない理由により最短の在学期間（2年間）で修了できない場合、3年目、4年目の授業料を減免する（長期履修制度の導入）	154	69.7
5	金城大学医療健康学部卒生が入学する場合は入学金を減免する	38	17.2
6	大学を卒業していなくても、実務経験・研究発表等から大学卒業と同等以上の学力を有すると判断されれば大学院受験資格を認める	104	47.1
7	金城大学医療健康学部へ編入し大学を卒業した後、大学院を受験可能なようにする	20	9.0
8	通学の利便性を考慮し、一部の科目を金沢市内（サテライトキャンパス）で開講する	80	36.2
9	職場における臨床経験が研究につながるよう配慮する	102	46.2
10	大学院で学んだ経験が、職場に生かせるよう配慮する	123	55.7
11	その他、具体的にご記入ください	15	6.8
	不明	8	3.6
	N（%へ→）	221	100.0

（複数回答のため、合計は100%にならない）

「11 その他」

<p>地元は石川県です。現在、大阪に在住し、PTとして働いています。大学院進学は大学在学中も考えておりました。スクーリングは難しいので、長期休暇や週末の開講があれば入学を希望したいと思っています。</p>
<p>学費に関してですが、ある程度収入が安定すれば予定額でも大丈夫なのかな？と思いますが、20～30代では新人の場合は経済的に苦しいと思いますし、家庭をつくるという場合もなかなか厳しい額ではないかと個人的には思いました。他の大学院の学費がどの程度か把握していないので、あまり強くは言えませんが。また、私のような遠方に住む者にとっては8番のようなサテライトキャンパスは非常にうれしく思います。</p>
<p>通学時間および学費、研究内容から大学院を選びます。</p>
<p>学費総額が50万以下なら検討する。</p>
<p>金額的に厳しいので、必要な勉強が受けられる社会人のための勉強会（コース）のような安いプログラムのものがあると入りやすい（参加しやすい）。</p>
<p>大学院も重要だが、専門学校卒や短大卒が編入できるような制度も必要。昼間、できれば夜間があれば今すぐにも編入したいほど。</p>
<p>入学者定員をもう少し増やしてほしい。</p>
<p>富山にもサテライトキャンパスがあればよい。</p>
<p>コミュニケーション能力のスキルアップ。マナーや躰の教育。</p>
<p>理学療法のみならず、他の分野も学べるようにする。Ex. 作業療法学、看護学など。</p>

能登地区への配慮もして頂けるならもっとすばらしいと思います。これだけネット環境も整い、情報、交通もよくなったけれども、まだまだ追いついていないことを、地域の差にはいけないと、自分の反省を棚に上げて、あえて記入させて頂きました。
金城大学以外の大学卒でも入学しやすい環境。
学費が高すぎるため、学費についてももう少し考えてほしい。
地域づくりにおける経験やフィールドワークが研究につながるよう配慮する。
教育充実費の使い方を明確にする、又は減額する。
子育て、仕事、勉学（大学院）が両立するよう配慮して頂ければ。

金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻
(仮称、修士課程)に関する意向調査
＜病院長・施設長アンケート＞

集 計 結 果

平成 26 年 2 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

<アンケート調査概要>	1
<大学院修了者採用意向>	2
<アンケート調査票>	3
<アンケート集計結果>	8

<アンケート調査概要>

1. 実施アンケート

「金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称、修士課程）に関する意向調査」

2. 調査対象

石川県、富山県、福井県内の理学療法士・作業療法士が在職されている医療機関、社会福祉施設等の代表者（病院長、施設長等）

3. 調査実施

平成 25 年 11 月～平成 26 年 1 月

4. 調査方法

各医療機関・社会福祉施設等に訪問又は郵送による配布・回収

5. 回収状況

有効回答票 74 票

回収率 61.2%（回答施設数 74 件÷依頼施設数 121 件）

<大学院修了者採用意向>

病院長・施設長アンケートによる「金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）」修了者の採用意向について、実数での回答は以下の通りである。

① 金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）修了者の採用・配属に関するご意向	実数
1 金城大学大学院修了者を積極的に採用・配属したい	3人
2 金城大学大学院で学んだことが、職務に役立てば採用・配属したい	14人
計	17人

<アンケート調査票>

金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻

(仮称、修士課程)に関する意向調査

金城大学では、理学療法士・作業療法士資格をお持ちの方が入学可能な大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻(仮称、修士課程)を、平成27年度を目標として開設することを検討しております。つきましては、大学院設置構想検討の参考とさせていただくために、大学・大学院に関する調査に関して多くの実績を持つ一般財団法人日本開発構想研究所に委託して、理学療法士・作業療法士が在職されている医療機関・社会福祉施設等の代表者(病院長、施設長等)の方を対象として、本学大学院に関する意向等を調査させていただくこととなりました。

なお、本調査は無記名で行われ、結果は統計的に処理され調査目的以外に使用することはありません。ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。結果集計の都合上、必要事項をご記入の上、12月21日(土)までに返送用封筒にてご返送くださいますようお願い申し上げます。

金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻(仮称)

設置計画概要(検討中のものを含む)

1. 設置場所および入学定員：金城大学の現在のキャンパス内(石川県白山市笠間町1200)入学定員は5名程度を予定しています。
2. 受験資格：理学療法士、作業療法士の資格を有する方(大学を卒業していなくても、実務経験、研究業績等から大学卒業と同等以上の学力を有すると認められた方は、受験を可能にする予定です)。
3. 開講時間等：就職しながら学ぶことを支援するために、昼夜開講、週末開講等を検討しています。
4. カリキュラム：理学療法、作業療法に関する専門科目に加え、生理学・解剖学等の基礎医学、精神科学、発達・心理学関連等の科目についても開講を予定しています。また、勤務先における職務経験が、大学院における学修・研究に生かせるようなカリキュラム(いくつかの症例を基礎として論文にまとめることを認める等)も計画しています。
5. 学費および学費等の減免制度：

学費【年額】(予定) (単位 円)

	入学金	授業料	教育充実費	合計
1年次	200,000	600,000	145,000	945,000
2年次	-	600,000	145,000	745,000

また、就職しながら学ぶことを支援するために、長期履修制度(職場の都合等やむを得ない理由により最短の2年で修了できない場合、3年目以降の学費を減免する制度)、成績優秀者への奨学金制度、金城大学卒業者に対する入学金減免制度等について検討しています。

金城大学へのアクセス

JR 北陸本線利用：JR 北陸本線で金沢駅・小松駅から最寄駅(加賀笠間駅)まで15分+徒歩10分(朝・夕はシャトルバス有)

北陸自動車道：美川 I.C. と徳光スマート I.C. より車で約5分(キャンパス内無料駐車場完備)

金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）に関する意向調査

あてはまる番号を□内に記入し、必要事項を()内にご記入ください。

① 貴施設の種別

1. 総合病院
2. リハビリテーション専門病院
3. 診療所（医院・クリニック）
4. 介護老人保健施設
5. 訪問リハビリテーション
6. その他（具体的にご記入ください）

)

1

② 貴施設の住所

() 県 () 市・町・村

③ 貴施設における職員の採用・配属方法をご記入ください。

1. 施設において独自に職員の採用選考・決定を行っている
2. 法人等運営主体が、採用選考・決定を行い施設に配属される
3. 公立施設のため公務員採用試験等の合格者から配属される
4. その他（具体的にご記入ください）

) 3

④ 貴施設に在職中の理学療法士および作業療法士の人数をご記入ください。

- ・理学療法士 () 人) うち常勤職員 () 人)
- ・作業療法士 () 人) うち常勤職員 () 人)

⑤ 今年度の採用者数および来年度の採用予定者数をご記入ください。

- ・平成 25 年度 採用者数：理学療法士 () 人) うち常勤 () 人)
作業療法士 () 人) うち常勤 () 人)
- ・平成 26 年度 採用予定者数：理学療法士 () 人) うち常勤 () 人)
作業療法士 () 人) うち常勤 () 人)

⑥ 今後、増床、リハビリテーション部門の充実等、理学療法士、作業療法士の採用人数を増加させるご計画はありますか。もしご計画があれば、具体的にご記入ください。

⑦ 過去 10 年以内に、貴施設に在職中の医療職職員（理学療法士、作業療法士、看護師等）が大学院に入学したことがありましたら、入学したことの番号を全て□に記入し、（ ）に人数をご記入ください。

1. 理学療法士（ 人）
2. 作業療法士（ 人）
3. 言語聴覚士（ 人）
4. 看護師 （ 人）
5. 医師 （ 人）
6. その他 （ 人）

7

⑧ 過去 10 年以内に、貴施設で大学院を修了した医療職職員（理学療法士、作業療法士、医師、看護師等）を採用・新規配属したことがあれば、あてはまる番号を全て□に記入し、（ ）に人数をご記入ください。

1. 理学療法士（ 人）
2. 作業療法士（ 人）
3. 言語聴覚士（ 人）
4. 看護師 （ 人）
5. 医師 （ 人）
6. その他 （ 人）

8

⑨ 貴施設の職員が大学院に入学することに関するご意向（最もあてはまる番号を 1 つだけご記入ください）

1. 大学院入学を大いに奨励し支援したい
2. 大学院入学希望者がいれば認めたい
3. 職務に支障がなければ大学院入学を認めたい
4. 人員配置状況、授業時間帯、通学時間等の条件により検討したい
5. 在職者については、職務に専念することを希望する
6. その他（具体的にご記入ください）

) 9

⑩ 大学院修了者の採用・配属に関するご意向（最もあてはまる番号を 1 つだけご記入ください）

1. 大学院修了者を積極的に採用・配属したい
2. 大学院で学んだことが、職務に役立てば採用・配属したい
3. 有資格者であり、職務に必要な能力があれば、学歴には特にこだわらない
4. 有資格者であり、職務に必要な能力があれば、人物本位で採用・配属したい
5. 大学院修了者は、積極的には採用・配属しない
6. その他（具体的にご記入ください）

)

10

⑪ 金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）修了者の採用・配置に関するご意向（最もあてはまる番号を1つだけご記入ください）

1. 金城大学大学院修了者を積極的に採用・配属したい
2. 金城大学大学院で学んだことが、職務に役立てば採用・配属したい
3. 有資格者であり、職務に必要な能力があれば、学歴には特にこだわらない
4. 有資格者であり、職務に必要な能力があれば、人物本位で採用・配属したい
5. 大学院修了者は、積極的には採用・配属しない
6. その他（具体的にご記入ください）

11

⑫ 貴施設が金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）に期待すること（あてはまる番号を全てご記入ください）

1. 高度な知識、技術を備えた人材の育成
2. 職場において指導的役割をはたせる人材の育成
3. 理学療法士・作業療法士養成校教員の養成
4. 共同研究による高度医療等への対応
5. 先進的な治療方法等の開発・導入
6. 研修会等の開催により、職員が最先端の知識・技術を修得する機会を設けること
7. 職員が履修を希望する科目について、科目等履修生（聴講生）等として受け入れること
8. その他、具体的にご記入ください

[]

12

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

<アンケート集計結果>

「金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻
(仮称、修士課程)に関する意向調査」回収表

No.	施設名	所在地	県 No.	依頼 方法	H25 臨床 評価実習
1	独立行政法人 国立病院機構 七尾病院	石川県	1	郵送	
2	金沢医科大学病院	石川県	1	郵送	
3	独立行政法人 国立病院機構 医王病院	石川県	1	郵送	
4	社団法人 地域医療振興協会 山中温泉医療センター	石川県	1	持参	*
5	社会福祉法人 徳充会 エレガントなぎの浦	石川県	1	郵送	
6	医療法人社団 勝木会 やわたメディカルセンター	石川県	1	持参	*
7	医療法人社団 慈豊会 加賀温泉病院	石川県	1	郵送	
8	医療法人社団 慈豊会 久藤総合病院	石川県	1	郵送	
9	医療法人社団 浅ノ川 金沢脳神経外科病院	石川県	1	持参	*
10	金沢赤十字病院	石川県	1	持参	*
11	医療法人社団 中央会 金沢有松病院	石川県	1	持参	*
12	医療法人社団 扇翔会 南ヶ丘病院	石川県	1	持参	*
13	国家公務員共済組合連合会 北陸病院	石川県	1	持参	*
14	社団法人 石川勤労者医療協会 城北病院	石川県	1	持参	*
15	映寿会みらい病院	石川県	1	持参	*
16	介護老人保健施設ピカソ	石川県	1	郵送	
17	医療法人社団 六豊会 すずみが丘病院	石川県	1	郵送	
18	医療法人社団 橘会 整形外科 米澤病院	石川県	1	持参	*
19	社会福祉法人 恩賜財団済生会 石川県済生会金沢病院	石川県	1	持参	*
20	医療法人社団 博友会 金沢西病院	石川県	1	郵送	
21	医療法人社団 光仁会 木島病院	石川県	1	持参	*
22	医療法人社団 浅ノ川 金沢循環器病院	石川県	1	持参	*
23	医療法人社団 浅ノ川 千木病院	石川県	1	持参	*
24	医療法人社団 和宏会 敬愛病院	石川県	1	郵送	
25	公立つぎ病院	石川県	1	持参	*
26	石川県立中央病院	石川県	1	郵送	
27	医療法人社団 浅ノ川 浅ノ川総合病院	石川県	1	郵送	
28	独立行政法人 国立病院機構 石川病院	石川県	1	郵送	
29	加賀市民病院	石川県	1	持参	*
30	社会福祉法人 石川整肢学園 小松子ども医療福祉センター	石川県	1	郵送	
31	医療法人社団 有川整形外科医院	石川県	1	郵送	
32	公立松任石川中央病院	石川県	1	郵送	
33	羽咋郡市広域圏事務組合 公立羽咋病院	石川県	1	郵送	
34	社会医療法人財団 董仙会 恵寿総合病院	石川県	1	持参	*
35	珠洲市総合病院	石川県	1	郵送	
36	国民健康保険能美市立病院	石川県	1	郵送	
37	津幡町国民健康保険直営河北中央病院	石川県	1	郵送	
38	医療法人社団 芙蓉会 二ツ屋病院	石川県	1	郵送	
39	医療法人社団 豊玉会 介護老人保健施設寿老園	石川県	1	郵送	
40	医療法人社団 新村病院	石川県	1	持参	*
41	公立穴水総合病院	石川県	1	郵送	
42	医療法人社団 和楽仁芳珠記念病院	石川県	1	郵送	
43	社団法人全国社会保険協会連合会金沢社会保険病院	石川県	1	持参	*
44	国立大学法人 金沢大学附属病院	石川県	1	持参	*
45	医療法人社団 和泉会 佐原病院	石川県	1	持参	*
46	医療法人社団 瑞穂会 みずほ病院	石川県	1	郵送	
47	独立行政法人 国立病院機構金沢医療センター	石川県	1	郵送	
48	学校法人 金沢医科大学 金沢医科大学氷見市民病院	富山県	2	持参	*
49	医療法人社団 恵成会 富山リハビリテーションホーム	富山県	2	持参	*
50	国立大学法人 富山大学附属病院	富山県	2	郵送	
51	特定医療法人財団 五省会 西能病院	富山県	2	持参	*

No.	施設名	所在地	県 No.	依頼 方法	H25 臨床 評価実習
52	山田温泉病院	富山県	2	郵送	
53	富山県立中央病院	富山県	2	郵送	
54	富山県 高志リハビリテーション病院	富山県	2	郵送	
55	富山県済生会富山病院	富山県	2	郵送	
56	流杉病院	富山県	2	持参	*
57	医療法人社団 藤聖会 八尾総合病院	富山県	2	郵送	
58	富山市民病院	富山県	2	郵送	
59	医療法人財団 恵仁会 藤木病院	富山県	2	持参	*
60	南砺市民病院	富山県	2	郵送	
61	医療法人社団 紫蘭会 光ヶ丘病院	富山県	2	郵送	
62	射水市民病院	富山県	2	郵送	
63	医療法人 真生会 真生会富山病院	富山県	2	郵送	
64	医療法人社団 城南会 富山城南温泉第二病院	富山県	2	郵送	
65	医療法人財団 五省会 介護老人保健施設みどり苑	富山県	2	郵送	
66	医療法人財団 五省会 西能みなみ病院	富山県	2	郵送	
67	特別養護老人ホーム にながわ光風苑	富山県	2	郵送	
68	医療法人社団 双星会 大沢野老人保健施設かがやき	富山県	2	郵送	
69	富山医療生活協同組合 富山協立病院	富山県	2	郵送	
70	医療法人社団 寿山会 あおい病院	富山県	2	郵送	
71	医療法人社団 一志会 池田リハビリテーション病院	富山県	2	郵送	
72	医療法人社団 七徳会 魚津病院	富山県	2	郵送	
73	富山県厚生農業協同組合連合会 滑川病院	富山県	2	郵送	
74	介護老人保健施設サンセリテ	富山県	2	郵送	
75	富山県済生会 高岡病院	富山県	2	郵送	
76	医療法人社団 桑山会 高岡老人保健施設長寿苑	富山県	2	持参	*
77	社会福祉法人マーシ園 障害者支援施設マーシ園木の香	富山県	2	持参	*
78	にしの老人保健施設	富山県	2	郵送	
79	かみいち総合病院	富山県	2	持参	*
80	杉野脳神経外科病院	富山県	2	郵送	
81	医療法人社団 寿山会 福光あおい病院	富山県	2	郵送	
82	医療法人社団 誠心会 老人保健施設 白雲荘	富山県	2	郵送	
83	医療法人社団 アルペン会 アルペンリハビリテーション病院	富山県	2	持参	*
84	医療法人社団 にしの会 西野内科病院	富山県	2	郵送	
85	富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院	富山県	2	郵送	
86	社会保険高岡病院	富山県	2	持参	*
87	独立行政法人労働者健康福祉機構富山労災病院	富山県	2	郵送	
88	社会福祉法人 光風会 堀川南光風苑	富山県	2	郵送	
89	医療法人財団 恵仁会 老人保健施設ケアホーム陽風の里	富山県	2	郵送	
90	医療法人社団 ホスピアー 浦田クリニック	富山県	2	郵送	
91	医療法人社団 ホスピアー 老人保健施設ちょうろく	富山県	2	郵送	
92	医療法人 博俊会 春江病院	福井県	3	郵送	
93	医療法人 穂仁会 大滝病院	福井県	3	持参	*
94	医療法人 穂仁会 福井リハビリテーション病院	福井県	3	持参	*
95	医療法人 堀の宮整形外科	福井県	3	郵送	
96	特定医療法人 福井心臓血管センター 福井循環器病院	福井県	3	持参	*
97	医療法人 健康会 嶋田病院	福井県	3	持参	*
98	福井赤十字病院	福井県	3	郵送	
99	医療法人 地水火風 たなか整形外科・眼科	福井県	3	郵送	
100	独立行政法人 国立病院機構 あわら病院	福井県	3	郵送	
101	越前町国民健康保険 織田病院	福井県	3	郵送	
102	公立丹南病院	福井県	3	持参	*
103	公立小浜病院	福井県	3	郵送	
104	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院	福井県	3	郵送	

No.	施設名	所在地	県 No.	依頼 方法	H25 臨床 評価実習
105	佐藤整形形成外科	福井県	3	郵送	
106	有限会社ほっとリハビリシステムズ ほっと地域リハビリセンター福井	福井県	3	持参	*
107	つくし野病院	福井県	3	郵送	
108	光陽生協病院	福井県	3	郵送	
109	医療法人 東山会 斎藤病院	福井県	3	郵送	
110	財団法人 今立中央病院	福井県	3	郵送	
111	有限会社ほっとリハビリシステムズ ほっと地域リハビリセンター	福井県	3	郵送	
112	医療法人 昭生会 安間整形外科医院	福井県	3	持参	*
113	福井社会保険 介護老人保健施設 サンビューかつやま	福井県	3	持参	*
114	福井大学医学部附属病院	福井県	3	持参	*
115	医療法人社団 茜会 藤田神経内科病院	福井県	3	持参	*
116	医療法人 尾崎整形外科	福井県	3	郵送	
117	医療法人 慈風会宮崎病院	福井県	3	持参	*
118	医療法人 厚生会福井厚生病院	福井県	3	持参	*
119	医療法人 清翔会 尾崎病院	福井県	3	郵送	
120	医療法人 積心会 介護老人保健施設 丹生ヶアセンターひまわり荘	福井県	3	郵送	
121	社団法人全国社会保険協会連合会福井社会保険病院	福井県	3	持参	*

〔回収状況〕（送付数 121 件）

日付	回収数	累計数	回収率
11.25	1 票	1 票	0.8%
11.26	11 票	12 票	9.9%
11.27	2 票	14 票	11.6%
11.28	6 票	20 票	16.5%
11.29	5 票	25 票	20.7%
12.02	10 票	35 票	28.9%
12.03	3 票	38 票	31.4%
12.04	1 票	39 票	32.2%
12.05	2 票	41 票	33.9%
12.06	3 票	44 票	36.4%
12.09	6 票	50 票	41.3%
12.10	5 票	55 票	45.5%
12.12	1 票	56 票	46.3%
12.13	1 票	57 票	47.1%
12.16	8 票	65 票	53.7%
12.17	1 票	66 票	54.5%
12.19	1 票	67 票	55.4%
12.20	1 票	68 票	56.2%
12.24	2 票	70 票	57.9%
12.25	1 票	71 票	58.7%
12.26	1 票	72 票	59.5%
01.06	1 票	73 票	60.3%
01.09	1 票	74 票	61.2%

「金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻
（仮称、修士課程）に関する意向調査」集計表

〔有効回答票：74 票〕

県別回収状況

No.	カテゴリ	件数	%
1	石川県	36	48.6
2	富山県	26	35.1
3	福井県	12	16.2
	N（% [^] -ス）	74	100.0

① 貴施設の種別

No.	カテゴリ	件数	%
1	総合病院	26	35.1
2	リハビリテーション専門病院	3	4.1
3	診療所（医院・クリニック）	4	5.4
4	介護老人保健施設	11	14.9
5	訪問リハビリテーション	0	0.0
6	その他	30	40.5
	不明	0	0.0
	N（% [^] -ス）	74	100.0

「6 その他」の回答

一般と結核病床を有し、一般は主に、神経筋難病、重症心身障がい児（者）、脳血管障害後遺症及び呼吸器疾患の治療を行っています。
大学病院
障害者等入院施設（重症心身障害児、筋ジストロフィ、神経難病、子どもの心の診療）
特別養護老人ホーム
一般（二次救急）、回復期リハ
ケアミックスの病院と施設
一般病床、亜急性期病床、医療療養病床がある。リハビリテーション文学部もある。
一般病院
一般病院（一般、回復期リハビリ、療養のケアミックス）
整形外科中心で一般病床 44 床と回復期リハ病床 44 床からなる病院
循環器専門病院
療養型病院
国立病院機構
療養介護・医療型障害児入所施設

一般病院
療養型病院
療養型病院
一般病院
通所介護
病院（療養）
病院（療養病床）、介護老人保健施設、高齢者向け住宅
障害者支援施設
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム、デイサービス）
診療所、介護老人保健施設、訪問リハビリテーション、疾病予防運動施設
一般病院
医療介護療養病床
循環器病院
在宅ケア総合施設（訪問、通所、入所、2次予防（1次含む））
内科一般病院
90床有する病院

② 貴施設の住所

石川県	件数	富山県	件数	福井県	件数
かほく市	1件	滑川市	1件	越前市	2件
羽咋市	1件	魚津市	3件	坂井市	1件
加賀市	4件	高岡市	3件	鯖江市	2件
金沢市	18件	射水市	1件	小浜市	1件
七尾市	3件	小矢部市	1件	福井市	6件
津幡町	1件	砺波市	1件		
内灘町	1件	南砺市	2件		
白山市	3件	富山市	10件		
野々市市	1件	立山町	2件		
能美市	1件	上市町	1件		
小松市	2件	氷見市	1件		
計	36件	計	26件	計	12件

〔総計 74 件〕

③ 貴施設における職員の採用・配属方法をご記入ください。

No.	カテゴリ	件数	%
1	施設において独自に職員の採用選考・決定を行っている	48	64.9
2	法人等運営主体が、採用選考・決定を行い施設に配属される	25	33.8
3	公立施設のため公務員採用試験等の合格者から配属される	0	0.0
4	その他	1	1.4
	不明	0	0.0
	N (%へ-入)	74	100.0

「4 その他」の回答：「採用職種により異なります。」

④ 貴施設に在職中の理学療法士および作業療法士の人数をご記入ください。

	理学療法士	うち常勤	作業療法士	うち常勤
0人	1件	3件	14件	17件
1人～5人	26件	29件	34件	33件
6人～10人	19件	16件	11件	10件
11人～15人	12件	11件	8件	8件
16人～20人	4件	4件	1件	1件
21人以上	9件	8件	3件	2件
不明	3件	3件	3件	3件
N (%へ-入)	74件	74件	74件	74件

⑤ 今年度の採用者数および来年度の採用予定者数をご記入ください。

・平成 25 年度採用者数

	理学療法士	うち常勤	作業療法士	うち常勤
0 人	29 件	32 件	44 件	45 件
1 人	21 件	19 件	16 件	16 件
2 人	11 件	10 件	5 件	5 件
3 人	5 件	5 件	3 件	2 件
4 人	1 件	1 件	3 件	3 件
5 人以上	7 件	7 件	3 件	3 件
不明	0 件	0 件	0 件	0 件
N (% [△] -入)	74 件	74 件	74 件	74 件

・平成 26 年度採用予定者数

	理学療法士	うち常勤	作業療法士	うち常勤
0 人	45 件	46 件	51 件	52 件
1 人	11 件	10 件	10 件	9 件
2 人	7 件	7 件	8 件	8 件
3 人	5 件	5 件	4 件	4 件
4 人	0 件	0 件	0 件	0 件
5 人以上	6 件	6 件	1 件	1 件
不明	0 件	0 件	0 件	0 件
N (% [△] -入)	74 件	74 件	74 件	74 件

⑥ 今後、増床、リハビリテーション部門の充実等、理学療法士、作業療法士の採用人数を増加させるご計画はありますか。

現状の患者さんのリハビリのニーズ及び今後の見通しを踏まえ、あらためてスタッフの人員について検討し、必要な場合増員したい。
病棟専従性等により、もう少し手厚い療法的増員を考えています。
不明です。
平成 27 年度は未定です。
患者の数次第。
5 ヵ年計画でリハビリセンター（スポーツ疾患中心）の設立を予定。今後 10 名強の増員予定。
急性期の充実、介護分野への対応も検討し。
リハビリテーションは充実させていきたい。
有り。具体策無し。
今後、理学療法士、作業療法士が計 40 人になるまでは、毎年 2~3 人採用予定。
理学療法士の採用予定有り。リハビリテーション室の広さを拡張する計画。
将来は脳血管リハ（I）の取得を考えている。
診療報酬改定を考慮しながら、又、病棟の再編等とも鑑み、検討します。増員はなくても現状の人員は確保するための補充はする予定です。
あり。具体的には決まっていません。
増床はなし。回復期病床への転床の可能性はあり。訪問リハビリの開設検討中。上記事業が決定すれば増員検討。
平成 26 年 10 月頃、リハビリテーション部門増床予定。
今年度 11 月中旬に回復期リハビリテーション病棟を開設したが、充実した運営をするためにはまだまだ人員不足の状態である。今後、十数名の増員（特に作業療法士）の予定である。
在宅生活に戻られてからの慢性リハビリにスタッフを増強させたいと考えている。経時間デイ、訪問リハなど。
1 人→2 人へ。
リハビリテーション加算算定のため人数を確保したい。
訪問リハ、通所介護、介護予防事業、複合型事業所、住宅事業全ての事業に PT、OT を充実配置したい。

- ⑦ 過去 10 年以内に、貴施設に在職中の医療職職員（理学療法士、作業療法士、看護師等）が大学院に入学したことがありましたら、入学したことの職種番号を全て記入し、人数をご記入ください。（複数回答）

No.	カテゴリ	件数	%
1	理学療法士	15 件	20.3
2	作業療法士	9 件	12.2
3	言語聴覚士	2 件	2.7
4	看護師	5 件	6.8
5	医師	7 件	9.5
6	その他	2 件	2.7
	不明	49 件	66.2
	N (% [^] -入)	74 件	100.0

（複数回答のため合計は N=74、100%にならない）

	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	看護師	医師	その他
0 人	9 件	13 件	21 件	18 件	17 件	22 件
1 人	5 件	8 件	2 件	2 件	2 件	1 件
2 人	2 件	2 件	0 件	0 件	0 件	0 件
3 人	2 件	0 件	0 件	2 件	1 件	0 件
4 人以上	5 件	0 件	0 件	0 件	3 件	1 件
不明	51 件	51 件	51 件	52 件	51 件	50 件
N (% [^] -入)	74 件	74 件	74 件	74 件	74 件	74 件

- ⑧ 過去 10 年以内に、貴施設で大学院を修了した医療職職員（理学療法士、作業療法士、医師、看護師等）を採用・新規配属したことがあれば、あてはまる番号を全て記入し、人数をご記入ください。

No.	カテゴリ	件数	%
1	理学療法士	7	9.5
2	作業療法士	3	4.1
3	言語聴覚士	0	0.0
4	看護師	6	8.1
5	医師	10	13.5
6	その他	7	9.5
	不明	51	68.9
	N (% [^] -入)	74	100.0

(複数回答のため合計は N=74、100%にならない)

	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	看護師	医師	その他
0人	14件	17件	20件	14件	11件	15件
1人	5件	3件	0件	4件	2件	4件
2人	1件	0件	0件	1件	0件	0件
3人	0件	0件	0件	1件	0件	1件
4人以上	1件	0件	0件	0件	6件	2件
不明	53件	54件	54件	54件	55件	52件
N (% [^] -入)	74件	74件	74件	74件	74件	74件

⑨ 貴施設の職員が大学院に入学することに関するご意向

No.	カテゴリ	件数	%
1	大学院入学を大いに奨励し支援したい	1	1.4
2	大学院入学希望者がいれば認めたい	12	16.2
3	職務に支障がなければ大学院入学を認めたい	30	40.5
4	人員配置状況、授業時間帯、通学時間等の条件により検討したい	15	20.3
5	在職者については、職務に専念することを希望する	15	20.3
6	その他	1	1.4
	不明	0	0.0
	N (％ベース)	74	100.0

「6 その他」の回答：「議論した事がない。」

⑩ 大学院修了者の採用・配属に関するご意向

No.	カテゴリ	件数	%
1	大学院修了者を積極的に採用・配属したい	4	5.4
2	大学院で学んだことが、職務に役立てば採用・配属したい	10	13.5
3	有資格者であり、職務に必要な能力があれば、学歴には特にこだわらない	20	27.0
4	有資格者であり、職務に必要な能力があれば、人物本位で採用・配属したい	35	47.3
5	大学院修了者は、積極的には採用・配属しない	4	5.4
6	その他	1	1.4
	不明	0	0.0
	N (％ベース)	74	100.0

「6 その他」の回答

「理学・作業療法士の採用は上局たる東海北陸ブロック事務所で行っているが、当院では、職員を採用するに当たり「4」を尊重している。」

⑪ 金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）修了者の採用・配属に関するご意向

No.	カテゴリ	件数	%
1	金城大学大学院修了者を積極的に採用・配属したい	3	4.1
2	金城大学大学院で学んだことが、職務に役立てば採用・配属したい	14	18.9
3	有資格者であり、職務に必要な能力があれば、学歴には特にこだわらない	21	28.4
4	有資格者であり、職務に必要な能力があれば、人物本位で採用・配属したい	33	44.6
5	大学院修了者は、積極的には採用・配属しない	2	2.7
6	その他	1	1.4
	不明	0	0.0
	N（%ベース）	74	100.0

「6 その他」の回答

「問 10 に同じ（理学・作業療法士の採用は上局たる東海北陸ブロック事務所で行っているが、当院では、職員を採用するに当たり「4」を尊重している。）」

⑫ 貴施設が金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）に期待すること（複数回答）

No.	カテゴリ	件数	%
1	高度な知識、技術を備えた人材の育成	56	75.7
2	職場において指導的役割をはたせる人材の育成	48	64.9
3	理学療法士・作業療法士養成校教員の養成	3	4.1
4	共同研究による高度医療等への対応	19	25.7
5	先進的な治療方法等の開発・導入	30	40.5
6	研修会等の開催により、職員が最先端の知識・技術を修得する機会を設けること	43	58.1
7	職員が履修を希望する科目について、科目等履修生（聴講生）等として受け入れること	17	23.0
8	その他、具体的にご記入ください	5	6.8
	不明	4	5.4
	N（%ベース）	74	100.0

（複数回答のため合計は N=74、100%にならない）

い）

「8 その他、具体的にご記入ください」：3件回答

人間性が第1に大切。打たれ強く、また、ストレスに強い人材の育成をお願いしたい（全医療従事者共通）。
科学に基づく臨床技術の体系化、リハ部門における組織管理学の研究。
臨床研究への積極的な関わり。

◆クロス集計表：③貴施設における職員の採用・配属方法

	県			
	合計	石川県	富山県	福井県
全体	74 100.0	36 48.6	26 35.1	12 16.2
施設において独自に職員の採用 選考・決定を行っている	48 100.0	25 52.1	13 27.1	10 20.8
法等運営主体が、採用選考・ 決定を行い施設に配属される	25 100.0	10 40.0	13 52.0	2 8.0
公立施設のため公務員採用試験 等の合格者から配属される	-	-	-	-
その他	1 100.0	1 100.0	-	-

	① 施設の種別						
	合計	総合病院	リハビリ テーション 専門病 院	診療所 (医院・ クリニック)	介護老件 保健施設	訪問リハ ビリテー ション	その他
全体	74 100.0	26 35.1	3 4.1	4 5.4	11 14.9	-	30 40.5
施設において独自に職員の採用 選考・決定を行っている	48 100.0	20 41.7	2 4.2	3 6.3	6 12.5	-	17 35.4
法等運営主体が、採用選考・ 決定を行い施設に配属される	25 100.0	6 24.0	1 4.0	1 4.0	5 20.0	-	12 48.0
公立施設のため公務員採用試験 等の合格者から配属される	-	-	-	-	-	-	-
その他	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0

	⑦ 過去10年以内に在職中の医療職職員が大学院に入学した職種（複数回答）							
	合計	理学 療法士	作業 療法士	言語 聴覚士	看護師	医師	その他	不明
全体	74 100.0	15 20.3	9 12.2	2 2.7	5 6.8	7 9.5	2 2.7	49 66.2
施設において独自に職員の採用 選考・決定を行っている	48 100.0	10 20.8	4 8.3	2 4.2	3 6.3	4 8.3	2 4.2	32 66.7
法等運営主体が、採用選考・ 決定を行い施設に配属される	25 100.0	5 20.0	4 16.0	-	2 8.0	3 12.0	-	17 68.0
公立施設のため公務員採用試験 等の合格者から配属される	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-

	⑧ 過去10年以内の大学院修了の医療職職員の採用・新規配属（複数回答）							
	合計	理学 療法士	作業 療法士	言語 聴覚士	看護師	医師	その他	不明
全体	74 100.0	7 9.5	3 4.1	-	6 8.1	10 13.5	7 9.5	51 68.9
施設において独自に職員の採用 選考・決定を行っている	48 100.0	5 10.4	2 4.2	-	4 8.3	6 12.5	6 12.5	32 66.7
法等運営主体が、採用選考・ 決定を行い施設に配属される	25 100.0	2 8.0	1 4.0	-	2 8.0	4 16.0	1 4.0	18 72.0
公立施設のため公務員採用試験 等の合格者から配属される	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0

	⑨ 職員が大学院に入学することに関する意向						
	合計	大学院入 学を大い に奨励し たい	大学院入 学希望者 がいたら 認めたい	職務に支 障がなけ れば大学 院入学を 認めたい	件員配置 状況、授 業時間 帯、通学 時間等 の条件に より検討 したい	在職者に ついては、 職務に 専念す ることを 希望する	その他
全体	74 100.0	1 1.4	12 16.2	30 40.5	15 20.3	15 20.3	1 1.4
施設において独自に職員の採用 選考・決定を行っている	48 100.0	1 2.1	9 18.8	19 39.6	11 22.9	8 16.7	-
法等運営主体が、採用選考・ 決定を行い施設に配属される	25 100.0	-	3 12.0	10 40.0	4 16.0	7 28.0	1 4.0
公立施設のため公務員採用試験 等の合格者から配属される	-	-	-	-	-	-	-
その他	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-

上段:件 下段:%	⑩ 大学院修了者の採用・配属に関する意向						
	合計	大学院修了者を積極的に採用・配属したい	大学院で学んだことが、職務に役立てば採用・配属したい	有資格者であり、職務に必要な能力があれば、学歴には特にこだわらない	有資格者であり、職務に必要な能力があれば、件物本位で採用・配属したい	大学院修了者は、積極的に採用・配属しない	その他
全体	74 100.0	4 5.4	10 13.5	20 27.0	35 47.3	4 5.4	1 1.4
施設において独自に職員の採用選考・決定を行っている	48 100.0	4 8.3	8 16.7	13 27.1	20 41.7	2 4.2	1 2.1
法人等運営主体が、採用選考・決定を行い施設に配属される	25 100.0	-	2 8.0	7 28.0	14 56.0	2 8.0	-
公立施設のため公務員採用試験等の合格者から配属される	-	-	-	-	-	-	-
その他	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-

上段:件 下段:%	⑪ 金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻修了者の採用・配置						
	合計	金城大学大学院修了者を積極的に採用・配属したい	金城大学大学院で学んだことが、職務に役立てば採用・配属したい	有資格者であり、職務に必要な能力があれば、学歴には特にこだわらない	有資格者であり、職務に必要な能力があれば、件物本位で採用・配属したい	大学院修了者は、積極的に採用・配属しない	その他
全体	74 100.0	3 4.1	14 18.9	21 28.4	33 44.6	2 2.7	1 1.4
施設において独自に職員の採用選考・決定を行っている	48 100.0	3 6.3	9 18.8	15 31.3	20 41.7	-	1 2.1
法人等運営主体が、採用選考・決定を行い施設に配属される	25 100.0	-	5 20.0	6 24.0	12 48.0	2 8.0	-
公立施設のため公務員採用試験等の合格者から配属される	-	-	-	-	-	-	-
その他	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-

上段:件 下段:%	⑫ 金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻に期待すること（複数回答）									
	合計	高度な知識、技術を備えた人材の育成	職場において指導的役割をはたせる人材の育成	理学療法士・作業療法士養成校教員の養成	共同研究による高度医療等への対応	先進的な治療方法等の開発・導入	研修会等の開催により、職員が最先端の知識・技術を修得する機会を設けること	職員が履修を希望する科目について、科目等履修生（聴講生）等として受け入れること	その他、具体的に記入ください	不明
全体	74 100.0	56 75.7	48 64.9	3 4.1	19 25.7	30 40.5	43 58.1	17 23.0	5 6.8	4 5.4
施設において独自に職員の採用選考・決定を行っている	48 100.0	39 81.3	33 68.8	1 2.1	14 29.2	19 39.6	27 56.3	13 27.1	2 4.2	2 4.2
法人等運営主体が、採用選考・決定を行い施設に配属される	25 100.0	16 64.0	14 56.0	2 8.0	5 20.0	11 44.0	15 60.0	4 16.0	2 8.0	2 8.0
公立施設のため公務員採用試験等の合格者から配属される	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	1 100.0	-